

富士通プロテックカップヒートアップとどろき大会 報知新聞社杯争奪戦



9/20(火) 21(水) 22(木) FI 競輪川崎

レース展望 !!

9月20日からの川崎競輪はF1ナイター。FT ECカップ、報知新聞社杯として開催される。

S級戦はG2直後の日程ということもあり、主力選手は不在。優勝争いは大激戦となりそう。地元南関からは東龍之介(神奈川96期)、堀内俊介(神奈川107期)のS1コンビが中心。予選から佐々木真也(神奈川117期)や染谷幸喜(千葉111期)らが勝ち上がれば更に戦力が増す。層が厚いのは北日本勢。積極的な橋本智昭(宮城99期)と差し脚堅実な齋藤登志信(宮城80期)の経験豊富な宮城コンビが中心となり、優勝戦線に名乗りを挙げてきそうだ。関

東の中心は芦澤大輔(茨城90期)だが、山岸佳太(茨城107期)が追加参戦する事が追い風になりそう。山岸は当地は好走する印象が強い。遠征は中部、近畿からの参加となる。石塚輪太郎(和歌山105期)・椎木尾拓哉(和歌山93期)の和歌山コンビや決め脚鋭い山口泰生(岐阜89期)らが軸となるも、成長株の福永大智(大阪113期)や経験豊富な川村晃司(京都85期)らが予選から勝ち上がれば一気に戦力がアップする。

A級戦の優勝候補は橋本瑠偉(栃木113期)で、栃木に移籍してから機動力が上がって

いる印象。同県の佐藤悦夫(栃木86期)や決め脚確かな須藤直道(群馬68期)らと共に優勝争いに名乗りを挙げる。ホームバンクの亀谷隆一(神奈川92期)は降級後まだ優勝が無く、この地元戦で良い流れを作りたいところ。総合力高い菅原裕太(静岡100期)やカマシ、まくり強力な本多哲也(千葉97期)が頼みとなりそう。北日本勢は戦力が手薄で苦戦を強いられそう。中近勢は力ある選手が揃っているが、なかでも当地には何度も参戦している徳田匠(京都119期)や特昇班したばかりの村田祐樹(富山121期)らの若い力に注目したい。

S級
主力選手



東龍之介 神奈川 96期

父はS級で長らく活躍した名選手の東晃(45期・引退)。父の背中を追うる輪界入りした東は20代半ばにしてマーク屋としての道を選択。番手を回ればしっかりと仕事をするし、玄人ファン好みの渋い走りで現在の地位を確立。グレードレースにも安定して出場できているが、まだまだ高いレベルで戦えるだろう。現在神奈川のマークーと言えば内藤秀久(神奈川89期)が真っ先に思い浮かぶが、東が肩を並べる存在になるだけの素質は十分。同じく神奈川の2世選手である郡司浩平(神奈川99期)の活躍は言うまでもないし、同県同期の松谷秀幸(神奈川96期)も高いレベルで活躍。更に飛躍が期待される地元の主力。

S級
主力選手



福永大智 大阪 113期

抜群のダッシュ力を誇る福永大智に注目する。以前から持ち味を生かしたカマシ、まくりに定評のある福永だが、なかなか安定せずに大敗も目立っていた。課題は組み立てと末の粘り。しかし、臆さずに積極的な走りを続けてきたことで、徐々に航続距離も伸びてきた印象がある。それを強く感じたのは8月の地元岸和田記念。決勝進出こそ逃したが、4日間バックを取り3連対。内容良く地元記念を終えた。昨年既にS級初優勝を決めており、ポテンシャルの高さは実証済み。今そのまま走りに安定感が増していくれば、グレードレースで活躍する日もそう遠くないはず。今シリーズも力強い走りに注目したいところ。

S級
主力選手



太田龍希 埼玉 117期

偉大な父、太田真一(埼玉75期)を持つ2世選手。今シリーズは若手機動型の活躍が目立ちそうだ。そのなかの一人である太田に注目。当地は連続で決勝進出を決めており相性は良さそう。最近は積極性が増して競走のスケールが大きくなってきた印象だが、前回川崎を訪れた時には「結果的にダメでも行こうって気持ちを持つようになってから良くなっている気がします」と話していた。逃げて結果を残し始めている。6月当地の準決勝は絶体絶命のピンチで豪快なまくりも決めた。「もうダメかと思ったけど、行くだけ行ったら出た感じで」と振り返るが、逃げでもまくりでも結果を出している当地は好相性。

A級
注目選手

橋本瑠偉
栃木 113期

元選手である妻(石井菜摘・引退)との結婚を機に佐賀から栃木へと移籍した橋本。新しい環境で更に力を付けている印象だ。同県となった同期の眞杉匠(栃木113期)らとの充実した練習が大きな原動力となっているようだ。G1ファイナリストでもある身近な同期の活躍を見れば、当然大きなモチベーションとなることだろう。今年一月からはA降級となったが、既に35勝10Vと大暴れ。新天地で充実した結果を残している。9連勝でのS級特進も期待されたが本人は強くは意識していない様子。今シリーズも優勝候補の筆頭として連日期待。

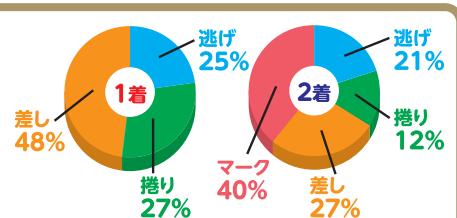
A級
注目選手

村田祐樹
富山 121期

学生時代に自転車競技で輝かしい実績を残してきた村田だが、養成所時代は未勝利に終わった。しかし、いざ7月からの本格デビューがスタートすると、いきなりの9連勝で特昇班。高い素質を爆発させている。チャレンジ戦の4~6連勝は当地で挙げており、2ヶ月も経たないうちに再びの参加。昇班初戦の和歌山は惜しくも決勝進出は逃したが2勝を挙げた。1、2班戦でも十分に通用しそうだ。7月当地の3連勝は3日間バックを取っての完全V。長い直線を苦にしない強力な地脚は今後の飛躍を期待させる。昇班後の初優出、初優勝も十分にある。

川崎競輪場バンクガイド

直線が長く、最終4コーナーから直線にかけてイエローライン付近が強襲コースで外を踏める選手が穴を演出する。



俺にまかせろ!

開催中
毎日
OA!



NICO NICO LIVE



競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル

突出した存在無く争い接戦